

# 名勝小金井（サクラ）

## 名勝指定100周年記念事業 報告書



令和7年11月

小金井市教育委員会



## 目 次

● 教育長あいさつ	3
● 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業 運営体制	5
● 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業実行委員会 委員名簿	6
● 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業一覧	7
● 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業 事業概要	
A. 特別事業	10
B. 広報・PR部門	16
C. 小金井市教育委員会（生涯学習課）主催事業	22
D. 小金井市教育委員会（生涯学習課）共催事業	29
E. 庁内各課主催冠称事業	32
F. 100周年記念事業実行委員会参加団体主催冠称事業	43
G. 市内事業者・その他団体等主催冠称事業	51
● 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業（生涯学習課事業分）	
事業費概要	58

数多くの記念事業から、名勝小金井（サクラ）の存在とその歴史を、広く市民、

特に未来を担う多くの子どもたちに知っていただきました。

そして、多くの市民の協力のもと、郷土愛を育み受け次の世代につなげること、

笑顔を広げることができました。



### 記念シンボルマーク

本記念事業の周知・啓発のため、シンボルマークを制定しました。サクラの花びらを基調としたデザインで、小金井桜を構成するヤマザクラの特徴である多様性を、“桜”的字で多色（緑系、茶系、赤系）で表現しています。



# 名勝小金井（サクラ）名勝指定 100 周年記念事業のご報告



小金井市教育委員会 教育長 大熊 雅士

本市の誇る「小金井桜」が国の名勝に指定されてから 100 年という大きな節目を迎えるこのたび記念事業の報告書を纏めることができました。ここに至るまでにご尽力いただいたすべての関係者の皆さんに、心より感謝申し上げます。

小金井桜の歴史は江戸時代に遡ります。元文・寛延の頃、將軍徳川吉宗の命により玉川上水沿いに桜川（茨城県）や吉野（奈良県）等のヤマザクラが数多く植えられ、武蔵野の地に壮大な桜並木が誕生しました。その美しさは江戸庶民を魅了し、文人墨客の作品に描かれるなど、全国に名を知られる花見の名所となりました。

明治期に入ると甲武鉄道が敷設され、桜を愛する人々の賑わいから臨時停車場が設けられ、それを契機に武蔵小金井駅が誕生しました。すなわち「小金井に桜があった」のではなく、「小金井桜があったからこそ駅ができ、まちが発展した」のです。桜は単なる景観を超え、まちの発展と人々の営みを導いてきた存在であります。

しかし桜は時に衰退の危機に直面しました。20世紀後半には、桜以外の樹木が上水堤に侵入・繁茂、都市化に伴う環境悪化等の様々な要因が桜の生育に多大な影響を与えたことにより、桜並木が失われそうになった時期がありました。その時、中心となって保護と再生に取り組んだのが「名勝小金井桜に親しむ会」と「名勝小金井桜を守る会」で、後に「名勝小金井桜の会」へ引き継がれます。地域住民の情熱と粘り強い活動が今日の小金井桜を支えてきたことを、私たちは決して忘れてはなりません。そして現在、その精神を受け継ぐ形で、東京都立農業高等学校の生徒たちが苗木を育て、未来の桜を守り育てる役割を担っています。若い世代が直接手を携えて桜を次代につなぐ姿は、この 100 年の歴史をさらに豊かにしてくれるものです。

今回の記念事業では、行政のみならず、商工会や観光まちおこし協会、奉仕団体、文化団体、学校、市民、事業者など多様な主体が参画していただきました。記念式典やお祝いの会、記念植樹や記念誌刊行といった事業に加え、フォトコンテストや歴史講座、給食献立や市民まつりなど、日常生活の中に桜を感じられる多彩な取組が展開されました。また、江戸時代から始まる桜のご縁がもとで、茨城県桜川市と防災協定を結ぶなど、新たな絆を創出することができました。桜を核として市民の心が結び合い、郷土の誇りを再確認する機会となったことは、大きな成果だと思います。

さらに、デジタル技術を用いたドローン映像やウェブ配信により、市内外へ小金井桜の魅力を広く発信することもできました。伝統を守りつつ新しい方法で価値を広げる取組は、文化財保護の未来を示すものでもあります。

100年という時の積み重ねは、人の一生を超える長さです。だからこそ、次の100年に向けて、今を生きる私たちが桜をどう守り伝えるかが問われています。本報告書はその歩みの証であるとともに、未来への約束でもあります。

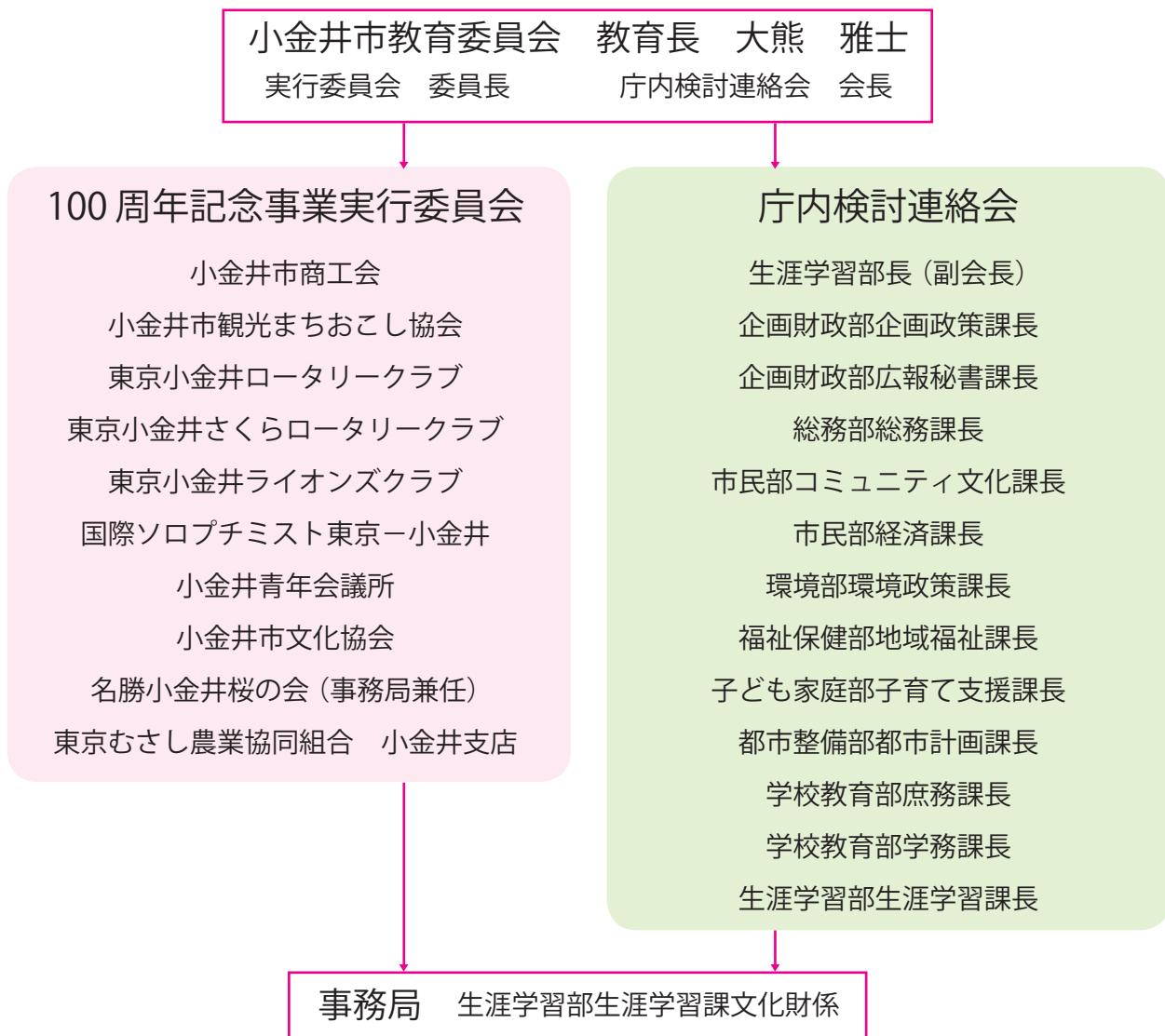
小金井桜のもとに集い、学び、語り合い、笑顔を広げてきた市民の姿は、このまちの宝そのものです。教育委員会としても、自然と文化を次世代へ継承する学びの場を大切にし、郷土愛と誇りを育む教育を一層推進してまいります。

最後に、本記念事業に携わってくださったすべての皆さん、そして桜を愛する市民の皆さんに深く感謝を申し上げるとともに、小金井桜がこれからも人々の心を潤し、未来を照らし続けることを心より願い、挨拶いたします。



## 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業 運営体制

名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業の実施に際しては、市内各種団体等のご協力をいただきながら、市としても全庁的な取組として位置づけ、下記の体制で実施しました。



### 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業実行委員会

市内の代表的な事業者団体・奉仕団体等10団体の代表者で構成され、計13回の実行委員会にご出席いただくと同時に、多種多様な冠称事業の実施のほか、記念植樹（学校植樹）事業、記念式典等の特別事業の実施に多大なご協力をいただきました。

### 庁内検討連絡会

庁内各部の庶務担当課長職者及び関係課長職者で構成され、庁内各課主催の冠称事業の実施、記念植樹（学校植樹）事業やシティプロモーション事業等の他部署との調整・連携が必要な事業に係る協議・調整等を担いました。



# 名勝小金井（サクラ）名勝指定 100 周年

## 記念事業実行委員会 委員名簿

団体名	ご役職（当時）	ご芳名（敬称略）
小金井市商工会	前会長	信山 勝由
(一社) 小金井市観光まちおこし協会	会長	土屋 晴彦
東京小金井ロータリークラブ	会長	田中 教夫
	幹事	針尾 日出義
東京小金井さくら	会長	前田 稔
ロータリークラブ	幹事	高井 信也
東京小金井ライオンズクラブ	幹事	星野 伸之
	会長	本川 交
国際ソロプロチミスト	副会長	信山 満留子
東京一小金井	レコーディング ・セクレタリー	石田 静子
	2024 年度 理事長	三笠 新太郎
小金井青年会議所	副理事長	柳野 沙織
	監事	挽野 洸
NPO 法人 小金井市文化協会	会長	福沢 政雄
	理事	花柳 孝一之輔
	副会長	植竹 隆夫
名勝小金井桜の会	事務局長	風間 裕一
	会員	小林 まさき
JA 東京むさし農業協同組合	統括支店長	加藤 健治
小金井支店	統括支店次長	須崎 登



# 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業一覧

## A. 特別事業

No.	事業名	実施時期
1	名勝指定100周年記念式典	R6.12.8
2	名勝指定100周年記念お祝いの会「笑顔広がる！小金井桜フェス」	R6.12.8
3	記念植樹（学校植樹）事業	R6.5.1～
4	名勝指定100周年記念誌「明日につなげるわたしたちの小金井桜」刊行	R6.12

## B. 広報・PR部門

No.	事業名	実施時期
5	記念ステッカー作成	R5.10・R6.6
6	小金井桜こきんちゃん記念ポストカード作成	R5.12
7	記念事業PRポスター作成	R6.3
8	記念事業PRリーフレット作成	R6.3
9	記念横断幕作成	R6.7～
10	特別ホームページ・記念動画公開	R6.8.26～
11	名勝小金井（サクラ）PRリーフレット作成	R6.11
12	名勝指定100周年記念看板作製・設置	R6.11.28
13	記念こきんちゃん小金井桜手ぬぐい作成	R6.12

## C. 小金井市教育委員会（生涯学習課）主催事業

No.	事業名	実施時期
14	文化財センター企画展「明治の旧公園」	R5.11.1～12.28
15	文化財講演会「文化財としての玉川上水・小金井桜と地域の景観」	R5.12.9
16	文化財センター季節展「名勝小金井桜」	R6.3.23～5.26
17	庁内PC記念壁紙表示	R6.4.1～R7.3.31
18	小金井桜フォトコンテスト	R6.4.1～5.31（募集期間）
19	小金井桜サクラ材活用事業	R6.10.22～R7.3.28
20	文化財センター企画展「小金井桜と武蔵小金井駅」	R6.11.1～12.28
21	地域史講座「文人の小金井、武蔵野」	R6.11.9・11.16・11.23
22	小金井桜フォトコンテスト写真展・小金井市環境賞大賞作品展	R6.12.8～12.13
23	小金井のサクラ写真展	R7.3.20～5.11
24	文化財センター季節展「名勝小金井桜」	R7.3.20～5.25
25	文化財講演会「小石川植物園と小金井桜」	R7.3.30
26	文化財ブックレット3「小金井桜拾遺」刊行	R7.3.31

## D. 小金井市教育委員会（生涯学習課）共催事業

No.	事業名	共催団体名	実施時期
27	小金井桜パネル展示	江戸東京たてもの園	R6. 8. 3 ~ 9. 1
28	F C 東京「小金井の日」	東京フットボールクラブ(株)	R6. 10. 5
29	特別講演会「日本の桜を救ったチエリー・イングラム—多種多様なサクラの魅力を語る—」	名勝小金井桜の会	R6. 10. 5
30	特別公演「渡辺えり版星の王子さま」	(公財) 江戸糸あやつり人形結城座	R6. 11. 2
31	こだいら・こがねい文化財めぐり 「小金井桜にまつわる文化財をめぐる」	小平市	R6. 11. 30
32	小金井市と東京フットボールクラブ株式会社との 包括連携協定締結記念植樹式	東京フットボールクラブ(株)	R7. 3. 29

## E. 庁内各課主催冠称事業

No.	事業名	主催部署	実施時期
33	体力測定会（地域リハビリテーション活動支援事業）	介護福祉課	R5. 11. 30
34	「月刊こうみんかんNo.549」刊行	公民館	R6. 1. 1
35	武蔵小金井駅市内地図看板	道路管理課	R6. 3. 4 ~ R7. 3. 31
36	成人講座「小金井桜と日本の桜」	公民館	R6. 3. 15・16
37	テーマ本展示「桜」	図書館	R6. 3. 15 ~ 4. 30
38	令和6年環境賞「未来に残したい小金井桜」	環境政策課	R6. 3. 15 ~ 4. 26 (募集期間)
39	令和6年度高齢者学級「みどり・朴の樹学級」	公民館	R6. 10. 30
40	第40回貫井南センターまつり語り芝居「武蔵野の歌が聞こえる」	公民館	R6. 5. 12
41	「小金井市みんなで子育て応援ブック のびのびこがねいっ子」刊行	子育て支援課	R6. 6 ~ R7. 5
42	「小金井市例規類集」「小金井市要綱集」刊行	総務課	R6. 8
43	男女平等に関する市民意識調査	企画政策課	R6. 10. 1 ~ R6. 10. 25
44	令和7年度保育施設等入所案内	保育課	R6. 10. 1 ~ R8. 3. 31
45	小金井魂炸裂！！俺たちの人生の舞台はここだ！	都市計画課	R6. 11. 9・10
46	市報こがねい「名勝指定100周年直前特集号」	広報秘書課	R6. 11. 15
47	マンホールカード（小金井桜）	下水道課	R6. 11. 15 ~ R7. 2. 1
48	小金井市立小中学校栄養士会企画「100周年記念給食献立」	学務課	R6. 12. 9
49	上の原公園トイレ整備工事	環境政策課	R6. 8. 7 ~ R7. 3. 21
50	小金井市議会だより（第290号）	議会事務局	R7. 2. 20
51	記念橋りょうデザイン（玉川上水梶野橋補修工事）	道路管理課	R6 ~ R7 年度

## F. 100周年記念事業実行委員会参加団体主催冠称事業

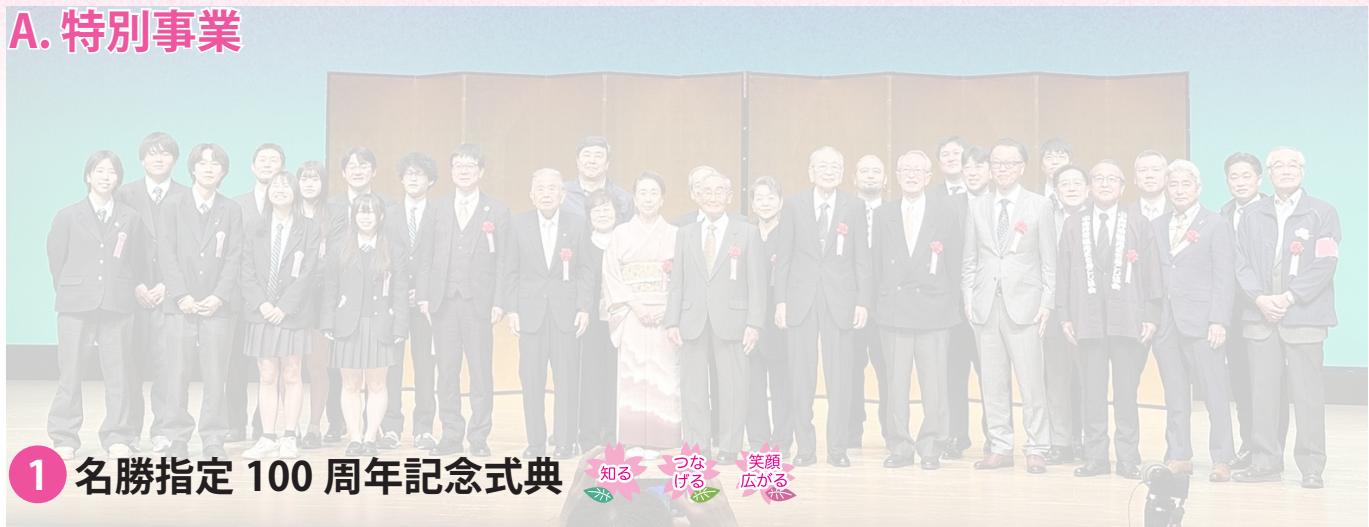
No.	事業名	主催団体	実施時期
52	第51回小金井なかよし市民まつり	小金井市商工会	R5. 10. 14・15
53	リーフレット「名勝小金井桜の復活をめざして」作成	名勝小金井桜の会	R5. 10. 14
54	講演会＆シンポジウム「名勝小金井桜を次世代に」	名勝小金井桜の会	R5. 12. 5

55	会報「YELL（エール）第26号」発行	NPO法人 小金井市文化協会	R6.3.1
56	宮城県山元町へのヤマザクラの贈呈・記念銘板設置	国際ソロプチミスト東京一小金井	R6.3.9
57	第70回小金井桜まつり	(一社)小金井市観光まちおこし協会	R6.3.23・24
58	観桜会と花見の宴	名勝小金井桜の会	R6.4.6
59	桜と春の生きもの観察会	NPO法人 小金井市文化協会	R6.4.7
60	第12回市民文化祭 芸術文化フェスティバル2024	NPO法人 小金井市文化協会	R6.5.25～6.2
61	『「名勝小金井桜」林床に見られる草本類等 ～甦りつつある里山の生物多様性～』刊行	名勝小金井桜の会	R6.9.1
62	チャリティイベント・献血活動	東京小金井ライオンズクラブ	R7.1.16～3.30
63	講演会「発掘された小金井—先人はなぜ小金井を 選んだのか—」	NPO法人 小金井市文化協会	R7.2.2
64	小金井桜スタンプラリー	小金井青年会議所	R7.3.20
65	第71回小金井桜まつり	(一社)小金井市観光まちおこし協会	R7.3.29・30
66	まちなか観光案内「玉川上水の山桜を見に行こう！」	(一社)小金井市観光まちおこし協会	R7.3.30

## G. 市内事業者・その他団体等主催冠称事業

No.	事業名	主催団体名	実施時期
67	成人学校地域研究講座「多摩と江戸の歴史的関係」	NPO法人 市民の図書館 ・公民館こがねい	R5.11.20・22
68	仮乗降場100周年記念ポスター展示	東日本旅客鉄道(株)八王子支社 武蔵小金井駅	R6.3.15～4.13
69	小金井桜祝100周年！みんなでヒガコ桜を咲かせよう！	(株)JR中央線コミュニティデザイン honowa東小金井(東小金井駅)	R6.3.15～4.14
70	記念菓子“サクラサク・ギフト”的販売	金澤建設(株)/菓子工房 ビルドルセ	R6.3.21～
71	記念ご膳“小金井桜ちらし”的販売	Cafe5884	R6.3～4 R7.3
72	第46回 小金井阿波おどり	小金井阿波おどり実行委員会	R6.7.27・28
73	記念和菓子“名所小金井 堤餅”等の販売	亀屋本店	R6.3.25～
74	第46回小金井薪能	小金井薪能	R6.9.16
75	第577回講義「小金井桜と御門訴事件」	小金井雑学大学	R6.10.20
76	第574回講義「野草たちの小金井桜」	小金井雑学大学	R6.12.1
77	高校生による小学校特別授業	東京都立農業高等学校	R6.12.16
78	駅からハイキング	東日本旅客鉄道(株)八王子支社 武蔵小金井駅	R7.3.20～4.13
79	ヒガコ＆名勝小金井(サクラ)写真展	(株)JR中央線コミュニティデザイン honowa東小金井(東小金井駅)	R6.3.21～4.26
80	ムサコおさんぽラリー2025	武蔵小金井活性化協議会	R7.3.22～4.13

## A. 特別事業



### 事業概要等

市内外の関係者約250名の方々を招き、記念式典を盛大に執り行いました。式典では、記念制作された小金井桜の動画上映から始まり、来賓（招待者）代表挨拶（福田かおる氏・松下玲子氏・東京都教育庁）、功労者等の表彰式、記念プレゼン、茨城県桜川市との防災協定締結の報告、そして市指定無形民俗文化財のお祝いの舞（小金井囃子保存会）で締めくくりました。功労者等の表彰式では、これまで名勝小金井（サクラ）の保護に尽力された個人・団体を、功労者として表彰させていただきました。茨城県桜川市との防災協定締結の報告では、「小金井桜が生んだ新たな絆」としてその歴史的背景について説明させていただき、大塚秀喜桜川市長にご挨拶をいただきました。記念プレゼンでは、小金井市と「『玉川上水・小金井桜整備活用実施計画』に関する連携協定」を締結した東京都立農業高等学校の生徒に登壇いただき、「小金井桜とその意義と価値を後世へ紡いでいきます」と、サクラの育成者としての強い意志を宣言していただきました。誰もが小金井桜の未来に期待が持てるような心温まる式典となりました。

### 実施時期

令和6年12月8日 10:00～12:15

### 実施会場

小金井宮地楽器ホール 大ホール

### 事業実績

御招待者：約250名

<御招待者（役職は当時）>

生稻晃子氏（参議院議員）、池澤隆史西東京市長、池田智彦氏（総合学院テクノスカレッジ校長）、大塚秀喜桜川市長（茨城県）、小美濃安弘武蔵野市長、加藤育男福生市長、金井敦氏（法政大学副学長）、河村孝三鷹市長、漢人あきこ氏（東京都議会議員）、小林洋子小平市長、塩村あやか氏（参議院議員）、高柳喜美代氏（東京都市議会議長会会長〔国立市議会議長〕）、谷寿文三宅村議会議長、中鳶裕一氏（国際基督教大学附属高等学校長）、橋本弘山羽村市長、平川吉治氏（東京電機大学附属中学校・高等学校長）、福田かおる氏（衆議院議員）、松下玲子氏（衆議院議員）、森田常次氏（東京都立科学技術高等学校長）

小金井桜 名勝指定 100年 名勝小金井 （サクラ）名勝指定 百周年記念式典 式次第	
一、開会	
一、名勝小金井（サクラ）名勝指定百周年記念 動画上映	
一、小金井市長挨拶	
一、御招待者紹介・御招待者代表挨拶・祝電紹介	
一、百年後の未来へ （体験）	
一、功労者表彰	
一、感謝状授与	
一、新たな絆（茨城県桜川市との取組）	
一、無形民俗文化財公演（小金井囃子）	
出演 小金井囃子保存会	出 演 東京都立農業高等学校 緑地計画科

長)、八重樫浩文北上市長(岩手県)、山口那津男氏(参議院議員)、山添拓氏(参議院議員)、山高亜紀子三宅村長、渡部尚氏(東京都市長会会長〔東村山市長〕)(以上、五十音順)

小金井市議会議員、小金井市教育委員会委員、小金井市立小・中学校長、玉川上水流域町会・自治会長、東京都教育厅・東京都水道局、名勝指定100周年記念事業実行委員会委員、名勝指定100周年記念事業協力事業者、名勝小金井(サクラ)関係者、記念事業関係事業者、小金井市内文化財関係者、小金井市教育委員会生涯学習部附属機関委員

## 祝電

吉良よし子氏(参議院議員)

橋元伸一山元町長(宮城県)

## 出演

小金井囃子保存会

東京都立農業高等学校

## 協力

司会進行: 大山美佳氏((株) J-COM 東京)

手話通訳: 小金井市手話通訳者連絡会

壇上めくり次第揮毫: 國分ひろみ氏(NPO法人 小金井市文化協会)

花生け: 東京都立農業高等学校

## 報道

朝日新聞、読売新聞、J-COM 東京、都政新報にてご紹介いただきました。





## ②名勝指定100周年記念お祝いの会「笑顔広がる！小金井桜フェス」



### 事業概要等

お祭り感覚で楽しめる“フェス”を開催しました。前半の部は「小金井市環境賞」大賞受賞者及び「小金井桜フォトコンテスト」入賞者への表彰状及び記念品の授与を、「記念講演会」(亀山氏)、市指定無形民俗文化財「関野町餅つき」(関野町餅搗保存会)を披露いただきました。餅つきには市長や「小金井市環境賞」大賞受賞者も参加し伝統芸能を体験いただきました。

後半の部では、小金井市文化協会加盟団体等による「伝統芸能公演及びキッズダンス」が行われ、会場が一体となるお祭りとなりました。世代等を問わず延べ約1,000名の市民等にお楽しみいただきました。

### 実施時期

令和6年12月8日 13:30～17:15

### 実施会場

小金井宮地楽器ホール 大ホール

### 事業実績

来場者数：約1,000名

### 出演

正派邦楽会・芸和楽・小金井市民オーケストラ・水の輪混声合唱団・アンサンブルユニット舞歌・OTO☆DANCE LABO（以上、NPO法人 小金井市文化協会加盟団体）、一心会、亀山章氏（玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会委員長）、関野町餅搗保存会

### 協力

司会進行：大山美佳氏 ((株) J-COM 東京)

手話通訳：小金井市手話通訳者連絡会

壇上めくり次第揮毫：國分ひろみ氏 (NPO法人 小金井市文化協会)

花生け：東京都立農業高等学校







### ③ 記念植樹（学校植樹）事業



#### 事業概要等

名勝小金井（サクラ）と同様のルーツを有すヤマザクラ苗木を、市立小・中学校の学校敷地内に植樹しています。「学校にヤマザクラがある」という特徴的な本事業は、地域の宝である名勝小金井（サクラ）を知り、郷土愛を醸成するきっかけにもなります。子どもとサクラが成長するとともに、郷土学習の教材としての役割も果たしていくことが期待されます。

#### 実施時期

令和6年5月1日～（令和7年度以降も継続実施）

#### 事業実績

令和6年度植樹箇所：9箇所

令和6年度植樹場所：小金井第二小学校（2箇所）、小金井第三小学校、小金井第四小学校、東小学校、前原小学校、小金井第一中学校、東中学校、南中学校

#### 協力

寄附団体：東京小金井ロータリークラブ、東京小金井さくらロータリークラブ、

東京小金井ライオンズクラブ、国際ソロプロチミスト東京一小金井、小金井青年会議所

御祝金：茨城県桜川市長、北上さくらの会、小金井囃子保存会

寄附金及び御祝金は本事業に要する事業費の一部に充当。



# 小金井桜の歴史

元文4年(1739)

寛政 6 年 (1794)

ふるかわこしうけん ししんちめいろく  
古川古松軒『四神地名録』にて小金井桜が「土地の人は千本桜と称す」と紹介される

文化元年 (1804)

江戸の俳人 露庵有佐が小金井までの花見の案内書『玉花勝覽』を刊行  
周年記念詩「門口につむばるわち」をもつ

文化2年(1805)

岡山鳥が葛飾北斎画による一枚刷り絵図『金井橋桜標』刊行

4 名勝指定 100 周年記念誌「明日につなげるわたしたちの小金井桜」刊行



事業概要等

名勝指定100周年の節目に小金井桜保護・継承の歴史を紹介する記念誌を作成し、記念式典の招待者・出演者等へお配りしました。内容は、小金井桜の歴史、小学生・高校生・玉川上水小金井桜整備活用推進委員会亀山会長・名勝小金井桜の会からのお祝いコメントや保護活動の取組紹介、小金井桜フォト・コンテスト入賞作品等を掲載しました。

### 実施時期

令和6年12月

事業実績

A4 縱 24 頁、1,000 冊作成

The image shows the front cover of a commemorative book. The title "名勝小金井(サクラ) 明日につなげる わたしたちの小金井桜" is displayed prominently in the center. The background features a dense arrangement of pink cherry blossoms at the top, transitioning into a green landscape with rolling hills at the bottom. The overall theme is the beauty of cherry blossoms and their connection to the future.

都立農業高等学校の取り組み

東京都立農業高等学校では、小金井桜復活に関する連携協定を小金井市・名勝小金井桜の会と結び、知識や技術を受け継ぎながら、小金井桜の後継者となるためヤマザクラの苗木を作っています。ヤマザクラの接ぎ木は簡単なものではありませんが、笑顔を絶たず楽ししながらこの新しいプロジェクトに携わっています。令和6年冬には、高校生が接ぎ木に成功した事が、3年の時を経て玉川上水に植えられるという画期的な成実につながりました。

祝名勝指定  
100周年  
小金井桜復活の弦外  
音  
令和6年3月8日